



山は楽しい けれど 危険が いっぱい

穏やかな陽気とともに、野山は緑の季節を迎えます。この時期、山は山菜採りや散策をするかたでにぎわいます。しかし、楽しい山歩きには、変わりやすい天候や複雑な地形などによって、常に遭難の危険がつきまといえます。そして、山での遭難は、安否を気遣う家族の心配、捜索に協力してくれるかたの苦勞、捜索にかかる費用など、大きな代償を払うことになるばかりでなく、命を失いかねません。「近所の山だから」、「よく行っている山だから」と油断をせず、十分に注意しましょう。

山へ入る際の心得

- △自分の体調を十分に考え、無理をしないようにしましょう。
- △万が一に備え、多めの食料、照明器具、ライター、雨具を携帯し、服装は目立つものにしましょう。
- △家族や知人に行き先、同行者、帰宅予定時間を告げてから出かけましょう。
- △入山前に集合場所、集合時間を必ず確認しましょう。
- △山へ入ったら目印となるものを見つけ、自分のいる場所を常に頭に入れて行動しましょう。
- △単独行動はなるべく避け、お互いに声を掛け合しましょう。
- △早めに下山しましょう。
- △冬眠明けの熊による事故も危険です。鈴やラジオを鳴らすなど、十分に用心しましょう。
- △トリカブトやドクゼリなどの有毒植物による事故も増えています。分からないものや迷うものは採取しないでください。
- △事故があったら、すばやく110番へ連絡しましょう。

遭難したと思ったら

- △無理に動き回らず、体力を温存しましょう。
- △雨や夜露をしのぐ場所を確保し、火を燃やして煙をあげ、居場所を知らせてください。
- △ヘリコプターの音が聞こえたら、空から見つけやすい場所にいて、タオルや衣類などを振って救助を待ちましょう。

● 広報おおだて 平成10年5月1日号(No700)

発行/大館市 ☎017-8555

秋田県大館市字中城20番地 ☎0186-49-3111

FAX0186-49-1198

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

人のうごき

平成10年4月1日現在

◆人	口	68,042人	(-181)
	男	32,055人	(-154)
	女	35,987人	(-27)
◆世帯数		23,716世帯	(+128)
		()	は前年同月比